

久根田舎地区「地域づくり計画書」



銀山上神社 苔参道

<はじめに>

地区の宝である地域資源と歴史的文化財や伝統的な食文化等と豊かな自然環境に恵まれた地域です。これらを連関させた施策を展開し、交流人口の拡大を図り、人が集う活気ある集落づくりを目指します。

また、しいたけ・米・さつまいもを中心とした加工による6次産業化とおもてなしによる多様で儲かる農業の推進により、農家の所得向上と環境の保全を図り、子供たちの笑い声が絶えない活力ある集落を目指します。

1 地区の現状

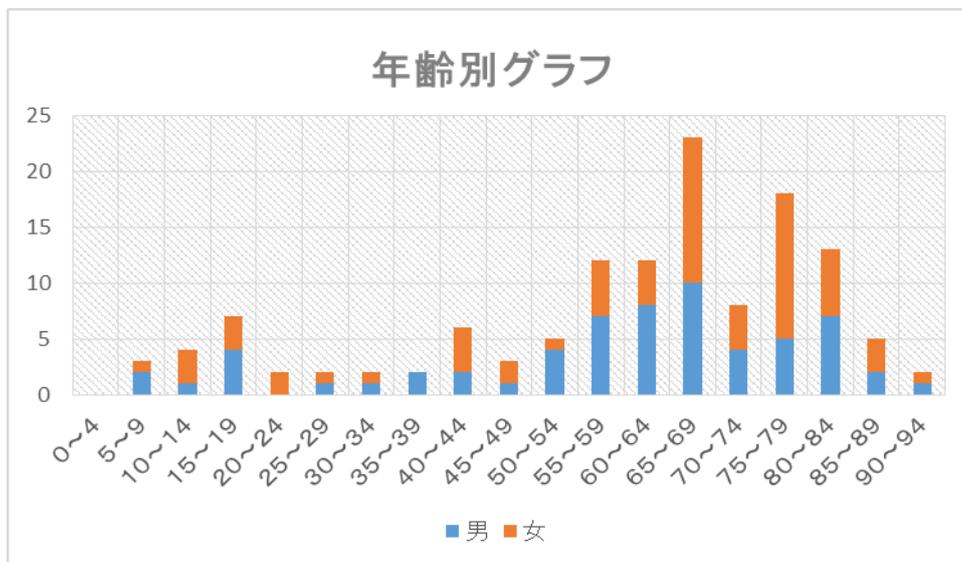
1. 地区の沿革

久根田舎は、対馬の南部西海岸に位置し、島の最高峰「矢立山」の西麓で久根川の上流にある地区です。古くは「大調」と称し、多くの銀を調貢したから大きな調（みつぎ）の意味だという。現在も上槻・久根浜との3地区からなる小学校を「大調小学校」として旧呼称を使っています。

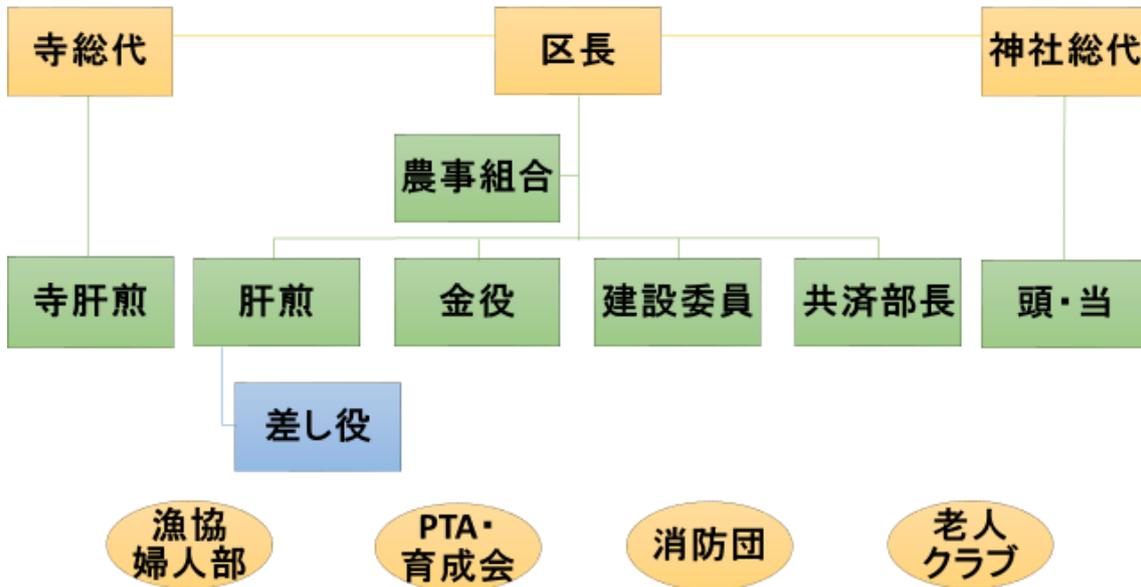
農林水産業が盛んに行われていたが、現在は、人口減少と高齢化による担い手不足や磯焼け等による資源減少の課題を抱えている。

2. 人口の推移

	世帯数	男	女	合計
10年前	61	83	93	176
5年前	57	72	77	149
現在	56	62	67	129



3. 自治組織



4. 地区の年間行事

旧暦の行事が多いので別途久根田舎地区の年間行事カレンダーを作成する。

旧暦行事 (■地区 ■お寺 ■神社)

1月	(12日) 注連縄張り区役	7月	
	(23日) 二十三夜祭	8月	(8日) 千巻心経 (薬師堂)
2月	(10日) 原田三郎右衛門祭	9月	(23日) 二十三夜祭
3月			(28日) 御出舟
4月	(14日) 夜宮 (15日) 大祭	10月	(30日) 御入舟 夜宮
5月	(23日) 二十三夜祭	11月	(1日) 大祭
6月	(23日) 部落改正	12月	(23日) 部落改正

新暦行事 (■地区 ■お寺 ■神社)

1月	(一月中に死者が出た場合のみ) 村清め	7月	(海の日の前) 海掃除
	祈念祭		
2月		8月	(24日) 地藏盆祭り
3月	(23日) 区民集会	9月	
4月		10月	
5月		11月	
6月		12月	

2 地域の魅力・資源

(1) 人的資源（人財）

地区には昔ながらの竹細工や草鞋を作れる人がおり、また、多くの家庭では味噌、豆腐等を手作りします。



竹細工・藁細工	こんにやく
せん作り	椿油
豆腐	どぶろく
味噌	そば
せんそば	

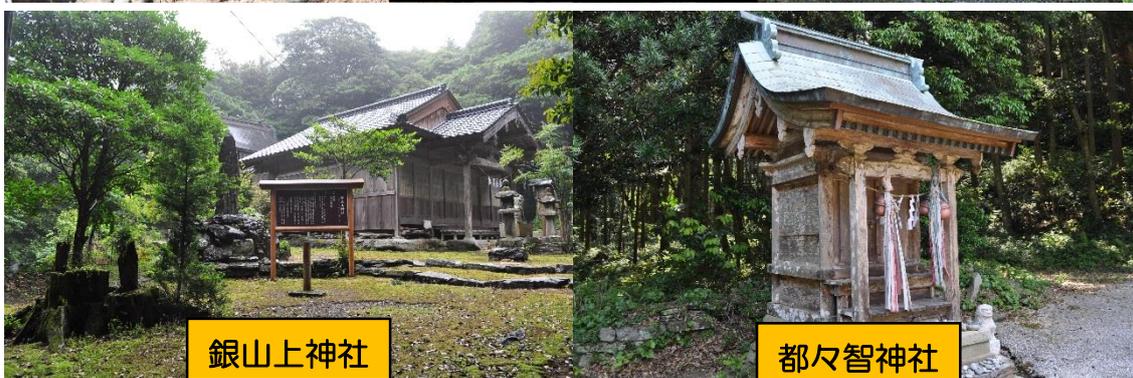
今後は若い人々にイベント等を通じて物づくりの面白さを知ってもらい、伝統技術を継承していきます。

(2) 物的資源（文化財・観光スポット、公共的施設等）

地区には安徳天皇御陵墓参考地をはじめとして、多くの文化財、観光スポットが存在していますが、あまり知られておりません。

運動公園もありますが現在は活用されておらず、荒れている状況です。また、福祉館は地区の集会所・避難場所として機能していますが、耐用年数が迫っており、建て替えが望まれます。

安徳天皇御陵墓参考地	薬師堂心経
安徳天皇にまつわる地名	メブチ・オブチ
銀山上神社	運動公園
都々智神社	福祉館
福泉寺の金銅如来立像	炭窯



今後は文化財についての理解を深め、観光誘致や整備を推進し、イベントを開く等、活用していきます。

(3) 環境

地区は東に矢立山を臨む山間の集落です。高台から見下ろす段々畑の景観は地区の自慢でした。神社周辺には清流が流れ、蛍も生息しています。かごや杉の巨木の先には人の手が入っていない原生林が広がります。

山の段々畑（棚田）	神社の周りの巨木
矢立山	神社横の清流
蛍	



これら貴重な自然環境を守り、棚田の維持に努め、アキマドポタル等を増やすなどして、観光にもつなげていきます。

(4) 産業

地区では昔から農産物、農産加工品を生産販売しておりますが、担い手不足や鹿、猪の被害で耕作放棄地が増えてきています。地区周辺に広がる山には地区の共有林があり、檜が多く生息しています。

農業	畜産
農産加工品	林業
民泊	



地域の資源を活用しながら新しい産業・顧客を開拓することで既存の産業の維持・発展に繋げていきます。

(5) 文化

地区には昔から継承してきた伝統行事や建物、技術があります。石屋根は建て替えながら今でも生活に欠かせない建物として根付いています。

昔ながらの寺社の祭り	石屋根
地区の役割分担	



特に石屋根は全国でも対馬にのみみられる貴重な文化です。久根田舎は現在でも生活に欠かせない文化として根付いています。これらを大切に未来へ引き継いでいきます。

3 ゴールに向けた具体的な活動内容

1. 自治活動による重点取り組み事項

昔ながらの習わしの継続

田畑を続けていけるように地区として努力していく

2. 長期的な課題と対応

(1) 防犯・防災

人口減少に伴い、空き家が増えてきています。消防団員も地元にはいない方が多くなってきており、万一の場合に対応できるか心配なところではあります。また、地形的に土砂災害の危険も予想されます。

空き家が増えている	消防団員が地元にはいない
地崩れ対策	河川改修



古民家等、活用していきます。空き家バンクへの登録もできる限り進めていきます。地域住民で消火栓の位置や、ポンプの使い方の確認、講習をして万一の事態にも対応できるよう備えます。

危険箇所の点検を地区で行い、随時陳情していきます。

(2) 道路

地区は山間の集落であり、産業の傾向からも林道が多く存在します。
地区の産業を維持・発展させるためにも必要不可欠ではありますが、現状は荒れている箇所も少なくありません。

市道安徳線	田ノ段線
矢立山麓線	脇田線



自分たちでできるところは、原材料を貰って自分たちで舗装していきます。
自分たちでできないところは市に陳情していきます。

(3) 健康生活・娯楽文化

伝統行事を今でも伝えている地区ではありますが、自治活動、行事への参加が年々減っており、今では役員のみが集まって協議している状態です。

自治活動が区役だけ集まる	寺社の祭りも役員だけが集まる
地区内の交流が少ない	



地区内交流を盛んにするためにも、住民皆が集まって楽しめる行事に取り組みます。

(4) 環境・衛生

久根田舎は対馬には珍しい内陸の段々畑の美しい集落ですが、近年鹿や猪によって荒らされ、耕作を放棄する方も増えてきています。

バス停改修	河川へのゴミ捨て問題
生ごみ回収の普及	休耕地問題



美しい景観を保ち、地区の産業を維持するとともに獣害への対策を講じていきます。また、生ごみ回収の普及に努めていきます。

休耕地の有効活用（案：椿の植栽 唐辛子等獣害のない作物）

(5) 生活習慣・自治活動

地区には昔ながらの習慣が多く残り、各家庭で月ごと、季節ごとの風習が見られます。しかし、若い世代にはその内容や意味を理解する方も少なくなってきました。

久根田舎の知名度が低い

久根田舎イベントカレンダー作成



次世代に受け継いでいくためにも、地区に関する情報を集め、整理し、内外へ広く地区の事を知ってもらいます。また、地区には旧暦の行事が多く残っておりますので、それらを継承していきます。

(6) 教育

地区の過疎化、少子高齢化が進んでおり、小学校は統廃合の危機にあります。また、昔から受け継がれてきた地区の伝統行事が担い手不足により、途絶えたものもあります。

学校の統合問題	地域の伝統行事が途絶える
子供達との交流がない	留学生の受け入れ
盆踊りの復活	



離島留学の受け入れや伝統行事の復活等を通じて地区内の世代間交流を進め、地区の文化を未来に受け継いでいきます。

5 資料

地域作り計画完成までの経緯

年月日	会議等	備考
	アンケート配布	
	アンケート回収	
2015/10/31	第1回地域づくり計画策定会議	
2015/12/12	第2回地域づくり計画策定会議	
2016/1/30	第3回地域づくり計画策定会議	
2016/3/12	第4回地域づくり計画策定会議	
2016/4/23	第5回地域づくり計画策定会議	
2016/5/28	決議	建設委員会